

提出金名： 米州機構全米麻薬濫用取締委員会提出金

国際機関等名	米州機構全米麻薬濫用取締委員会 (略称) OAS・CICAD					
種 別	国連本体		国連専門機関		○その他	
所轄官庁担当局課名	外務省中南米局中南米第一課					
最近3年間の我が国支払額及び拠出率、ODA率						
単 位	金 額				拠出率(%) (注1)	ODA率(%)
	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千ドル)	外貨2	レ ー ト		
平成14年度	10,472	86		1\$ = 122円	(2002年) 1.7	100
平成13年度	16,585	155		1\$ = 107円	(2001年) 1.6	100
平成12年度	16,275	155		1\$ = 105円	(2000年) 2.7	100
拠出上位5ヶ国						
	国 名		率(%)		左の率及び順位は 2002年のもの	
1位	米国		58.1			
2位	カナダ		8.5			
3位	スペイン		7.8			
4位	IDB		7.3			
5位	EU		3.9			
当該機関に対する我が国としての評価(当該機関の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)						
我が国として、中南米地域において、現地のニーズを踏まえた費用対効果の高い麻薬対策プロジェクトを行う点において本委員会の評価は極めて高い。その背景として、本委員会は米州機構(米州における民主化進展、政治的安定を図る機関)の下部組織であり、中南米地域における麻薬対策を進める国際機関として最も権威ある機関であること、また、中南米各国からの評価と信頼も大きく、麻薬対策を進める上で各国の政府、民間、学術組織からも協力を受けることができることが挙げられる。						
合理化、機能強化のための改革が行われているか。 行われている場合はその現状と我が国としての評価						
OAS全体の職員数は、1970年には2,000名を超えていたが、業務の合理化が進み近年は600名を切るまでに削減されている。本委員会のプロジェクト実施に関しては、現地の看護学校等と協力し、現地の人材を活用している。右のような実施形態を通じ、委員会事務局の肥大化を防いでいる点は評価される。						
邦人職員数 うち幹部以上	0 人 うち 0 人		当該機関の職員数及び 邦人職員が職員全体にし める率	233人(注2) 0%		
邦人職員が占めている幹部ポスト						
ポストの名称(ランク)		職 員 氏 名		備 考		
当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画						
特になし						

(注1) 我が国と各国とは会計年度が異なるため、拠出率については暦年(2000年～2002年)。

(注2) 専門職以上の正規職員で、OASレギュラー・ファンドにより給付負担しているもの(2002年12月現在)